

平成22年12月 1日

「平成22年度ワーク・ライフ・バランス推進セミナー」

を開催しました。

東京労働局労働基準部労働時間課

東京労働局では、11月12日（金）に、「しっかり働き、ゆっくり休む！」をメインテーマに「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー」を開催しました。

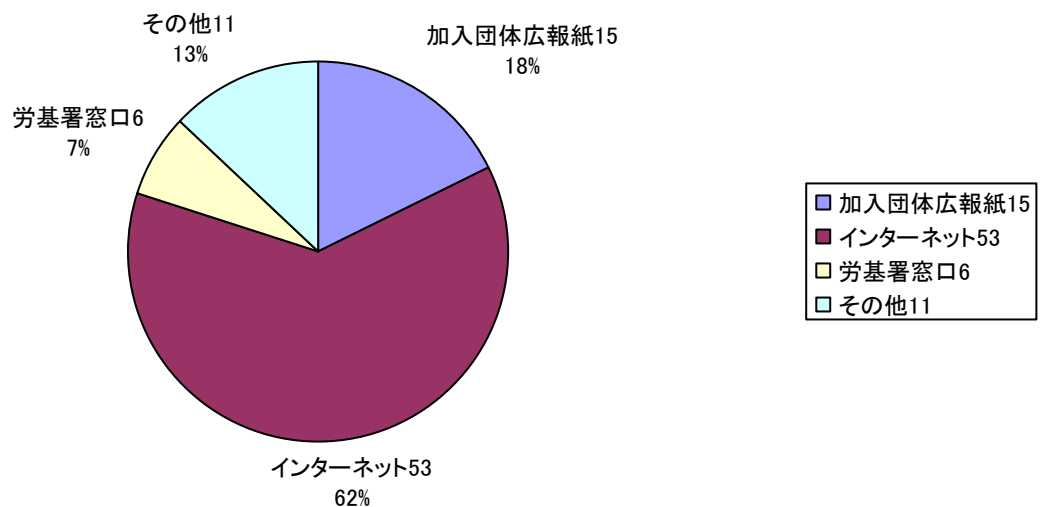
セミナーにおいては、「さわやか福祉財団」人間力再生プロジェクトリーダー大畠政義氏による基調講演「自分というキャパシティを広げていく前向き（アクティブ）休暇」の後、実際のワーク・ライフ・バランス取組企業の事例発表、及び改正次世代育成支援対策推進法の説明が行われ、参加者は熱心に聴き入っておられました。

当日会場で、このセミナーに関するアンケートをお願いしたところ、85名の方々からご協力をいただくことができました。

アンケートの結果概要は以下のとおりです。

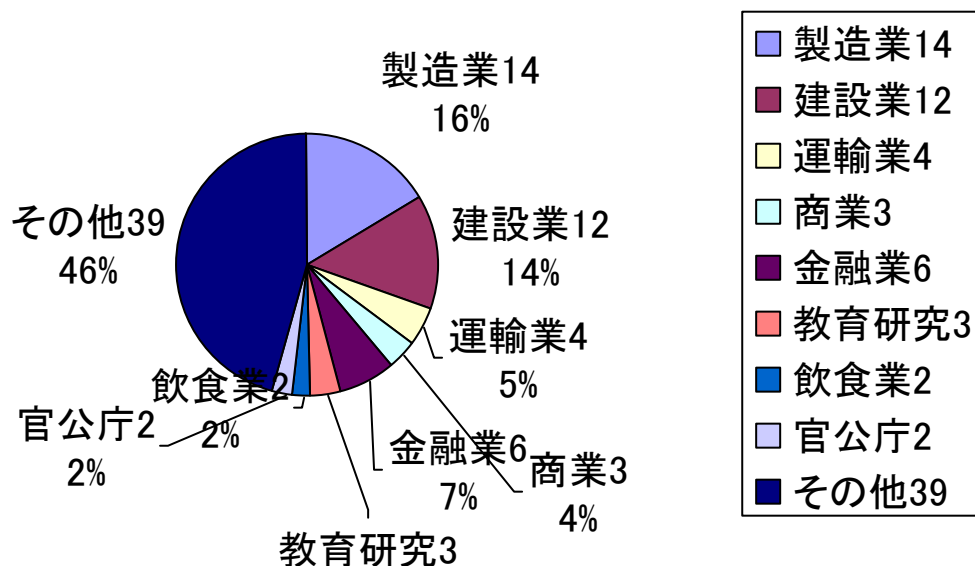
1 フォーラム開催に関する情報の入手経路

* インターネットから情報を得ている方が大半です。



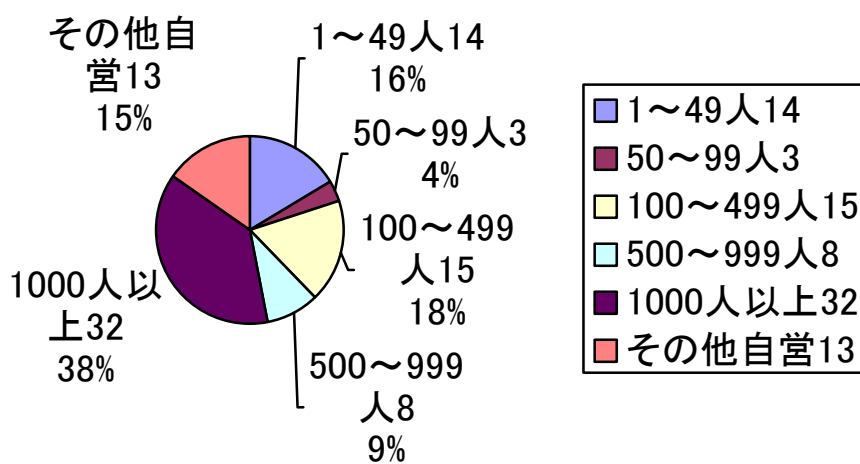
2 参加者の事業場の業種

* 業種別には製造業と建設業からの参加者が多かったです。



3 参加者の事業場の規模

* 規模別には1,000人以上規模の事業場からの参加が多かったです。



4 特に有意義だった項目

* 内容では、特に各社のワーク・ライフ・バランス取組の実例が参考になったようです。



5 感想、意見、要望から

- 会社の活性化とワーク・ライフ・バランスの話が参考となった。
 - 事例紹介で、どんなことをやっているのか具体的に聞くことが一番参考となる。
 - 現場のいろいろな苦勞がよく理解できた。同じ悩みを抱えていて参考となった。
 - トップに提案できるような会社側のメリットをまとめたものがあれば会社内でも取組を推進しやすい。
 - 週休2日制が今は当たり前となったように、ワーク・ライフ・バランスが普通のことのように浸透するすべを見出してほしい。
 - 関係法令の説明は新しい情報源として役立つ。
 - 事業形態別のワーク・ライフ・バランス成功事例、失敗事例の紹介をしては。
 - もっと推進セミナーの開催を増やしてほしい。
 - もっと派手なキャンペーンをやったら。
 - 配布資料はモノクロプリントで十分。
- など。
- 多数のご意見をありがとうございました。今後の企画等の参考とさせていただきます。